

地域コミュニティ組織「谷むらづくり協議会（由布市挾間町谷地区）」について

○地域コミュニティ組織とは

地域コミュニティ組織とは、概ね小学校区単位等の一定の範囲における地域住民や地域内の各種団体等で構成された組織で、人口減少や少子高齢化等による様々な地域課題の解決に向けて、行政と協働しながら主体的に各種活動に取り組んでいます。

現在、由布市には3つの地域コミュニティ組織があり、その内の一つが由布市挾間町谷地区にて活動する「谷むらづくり協議会」です。

《谷むらづくり協議会 概要》

設立年月：令和4年4月

活動区域：由布市挾間町谷地区（自治区数 14）

部 会：むらづくり部会、子育て・共育・文化部会、環境・保全部会、広報部会

委員数：35名 ※令和5年1月末時点

現在休園中の谷幼稚園舎を拠点として、「自然に学べ、自然と遊べ 子どもが育つ 元気な田舎“谷むら”」をテーマに、あらゆる世代の方々がお互いに元気に明るく見守りながら生きることができる“谷むら”を実現するため、住民が主体となり行政と協働で暮らしやすさや地域活力の向上のための活動に取り組んでいます。

特に、児童数が減少している地区内の小学校について、児童数を増やすため関係団体等と連携しながら、移住促進等に重点的に取り組んでいきます。

[令和4年度活動内容]

子ども見守り隊による登校時の児童等の見守り活動、小学校との連携事業、グラウンドゴルフ大会の開催、耕作放棄地への作物植付（耕作放棄地の有効活用）、草刈活動、広報活動事業（広報誌・SNSによる広報活動）、移住定住促進事業（空き家・空き地調査）、移住者交流会（大学と連携・協力） 等

○挾間町谷地区について

谷地区は、由布市挾間町の南西部に位置し、東は大分市野津原、西は由布市庄内町、南は竹田市に接している中山間地域です。大分県の中核である大分市や別府市に近く、通勤エリアとしても検討できる場所にあります。

谷地区の南端には妙音山（標高577.5m）があり、そこから大分川にかけて小山が点在し、その山と山の間に集落（自治区）が点在しています。

昔から農業が盛んな地域であることから、谷地区の各集落には人々が五穀豊穡を願うための神社が存在しています。また、熊本、大分の地で農業に欠かせない水を運ぶための井路開発に生涯をささげた「工藤三助」が郷土の偉人として現在も語り継がれるなど、多くの歴史や伝統、文化が残っている地区です。

※協議会活動の様子を Facebook に載せていますので、ぜひご覧ください👉

